

# ⑥ 教育改革への賛否

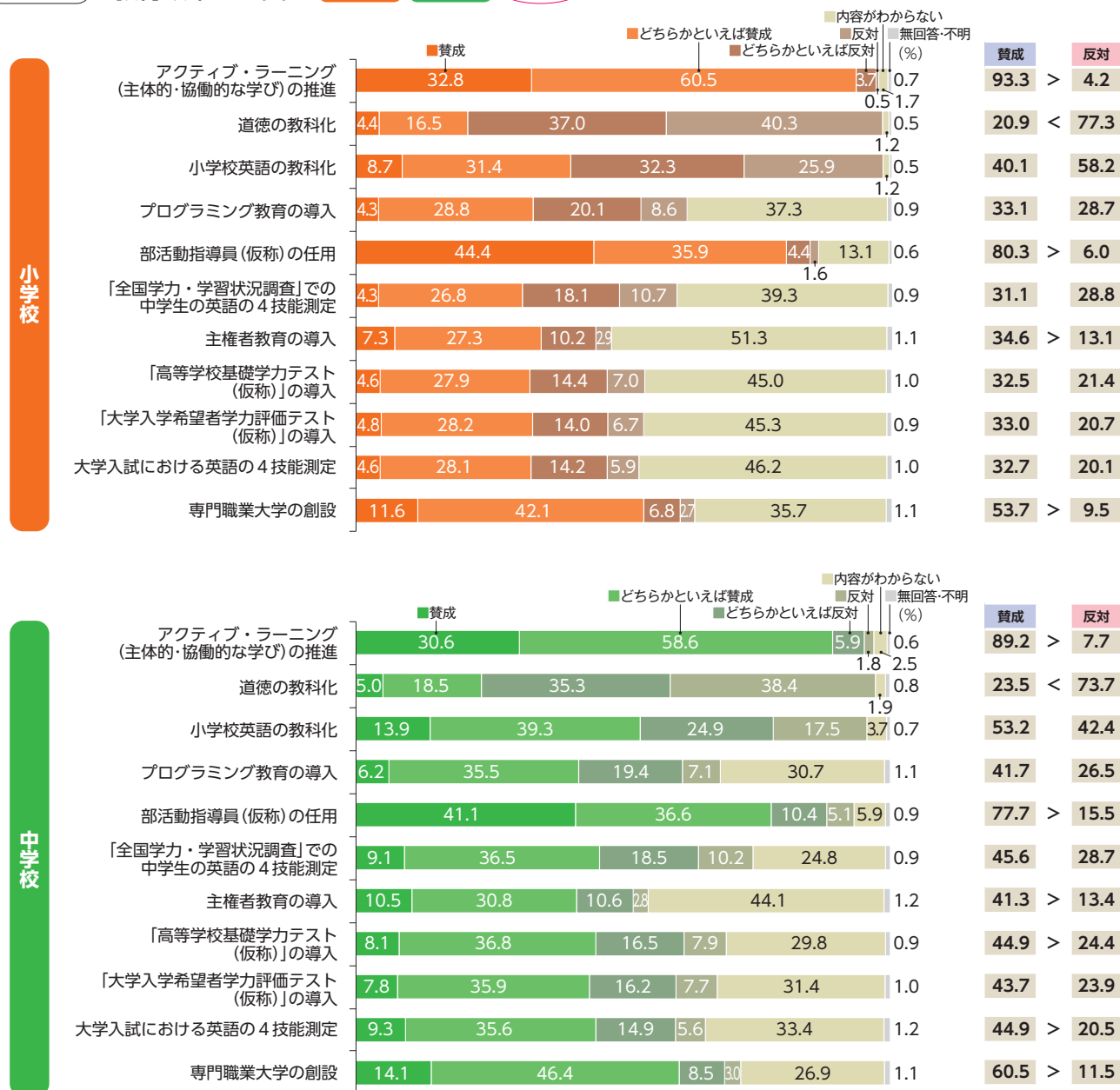
## 6-1 教育改革への賛否

賛成が多いのが「アクティブ・ラーニングの推進」「部活動指導員(仮称)の任用」。反対が多いのが「道徳の教科化」。

現在、国が推進しようとしている教育改革について賛否をたずねたところ、小・中・高校教員とも賛成が多かったのが「アクティブ・ラーニングの推進」「部活動指導員(仮称)の任用」、逆に、小・中・高校教員とも反対が多かったのが「道徳の教科化」である(図6-1、図6-2)。「小学校英語の教科化」は小学校では賛成より反対の方が上回り、18.1ポイント高くなっている。また、「『全国学力・学習状況調査』での中学生の英語の4技能測定」についての中学校教員の回答は賛成45.6%、反対28.7%と賛成の方が16.9ポイント高くなっている。

Q 現在、国が進めている(進めようとしている)次の教育改革や取り組みについて、うかがいます。

図6-1 教育改革への賛否 **小学校** **中学校** **教員**



注1) 右表の「賛成」は「賛成」+「どちらかといえば賛成」の%、「反対」は「反対」+「どちらかといえば反対」の%を表す。

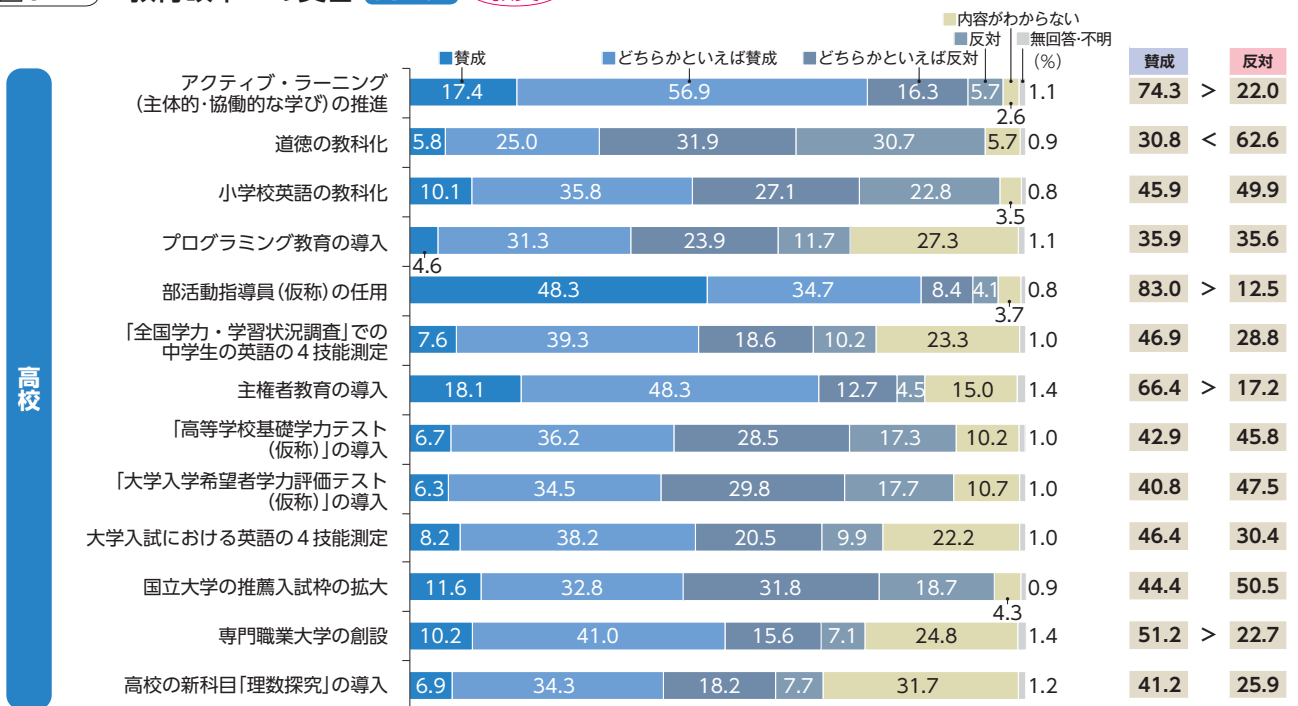
注2) 右表の「>」「<」は「賛成」と「反対」で20ポイント以上の差があることを表す。

## 高校教員は、2つの新テストの導入と国立大学の推薦入試枠の拡大について賛否が拮抗しているが、やや反対が多めに。

高校教員について大学入試関連の項目をみると、『高等学校基礎学力テスト(仮称)』の導入(賛成42.9%、反対45.8%)、『大学入学希望者学力評価テスト(仮称)』の導入(賛成40.8%、反対47.5%)、「国立大学の推薦入試枠の拡大」(賛成44.4%、反対50.5%)は賛否が拮抗しているが反対の方が若干多く、「大学入試における英語の4技能測定」(賛成46.4%、反対30.4%)は賛成の方が多くなっている。また、「専門職業大学の創設」は賛成が51.2%と多いものの、一方で4分の1が「内容がわからない」と答えている。

**Q** 現在、国が進めている(進めようとしている)次の教育改革や取り組みについて、うかがいます。

図6-2 教育改革への賛否 **高校** **教員**



注1) 右表の「賛成」は「賛成」+「どちらかといえば賛成」の%、「反対」は「反対」+「どちらかといえば反対」の%を表す。  
 注2) 右表の「>」「<」は「賛成」と「反対」で20ポイント以上の差があることを表す。